

平成29年度 第3回大阪府立泉鳥取高等学校 学校協議会 議事録

日時：平成30年2月9日（金）15：00～16：40

〈校長室にて〉

- ① 学校長挨拶
- ② 時程及び協議内容等確認
- ③ 平成29年度の学校経営計画について、提言の確認と平成30年度の学校経営計画について

〈L L教室にて〉

- ① 委員紹介（敬称略、順不同）
比嘉 悟、坂上 尚大、小島 久美子、中山 孝一、大久保 宏俊、川畑 利子
宮坂 政宏(オブザーバー)
- ② 事務局紹介（敬称略、順不同）
橋本 敏和・近西 弘行・星野 恵美・安田 覚・鮎川 哲也・松田 義之・北岸 伸浩
田中 千絵・西野 洋次・黒川 哲男・多賀 絢香・奥田 訓之・野間 健二・中山 輝彦
上田 正登・三川 功耀・田畑 貴史・坂下 奈緒・高木 優美
- ③ 総括等の報告
 - ア 進路関係（代読：多賀 絢香）
 - ・進路内定状況について、進学と就職の割合は昨年度並みだった。
 - ・就職者数が増えている。原因としては、募集が増えたこと、教員全体で企業や生徒への取り組みを行ったことが考えられる。
 - ・今後の課題として、全学年が資料閲覧室を積極的に利用できる工夫や1，2年生にも早い段階で進路意識を高めさせる工夫が挙げられた。
 - イ 教務部（松田 義之）
 - ・教員数の減少に伴って、コンピュータでのマニュアル化を図った。
 - ・成績処理の新システムを導入した。新たな資料については更なる自動化を図りミスを軽減する必要がある。
 - ・校務処理システムの出欠入力の整合性チェックを昨年度に引き続き実施。更なるマニュアルの整備が必要。
 - ウ 生徒指導関係（北岸 伸浩）
 - ・懲戒人数は今年度も減少。懲戒人数は35名だが、件数としては20件程度だった。懲戒には至らないが、学年指導という指導があることをお知り置きいただいた。
 - ・登下校の指導は継続して行っている。いつも教員の目があるということを意識付けさせたい。
 - ・頭髪指導を今年度も念入りに行った。今後は生徒に頭髪指導の意味を理解させ、できるだけ再登校指導をせずにすむ指導を行うことが課題である。
 - エ 保健関係（田中 千絵）
 - ・廊下での食べ歩き、B棟への飲食物持ち込み防止のために、保健部員が休憩時間に立ち番をして指導にあたった。徐々に食べ歩きや持込は減っているように思われるので、今後も継続していく。
 - ・防災訓練を6月と9月の2回行った。避難時間は2回目のほうが避難時間の短縮ができた。
 - ・消防署の方に救急救命法講習と熱中症予防講習を行っていただいた。また、橋口先生より食物アレルギーとエピペンの使用方法についての研修会を行っていただいた。
 - ・1年生の薬物乱用防止教室を、泉佐野保健所の協力のもと、「タバコの害について」というテーマ

で行った。分かりやすいパワーポイント等を使っての講演であり、次年度以降も継続して行いたい。

オ 図書自治会関係（西野 洋次）

- ・体育祭の課題としては警備の人員不足、応援パフォーマンスに関する教員の負担等が挙げられる。また、男子リレーについては800mリレーを1回のみに変更して行ったが、生徒の身体への負担や影響の面から400mリレーへの変更か現状維持かを検討する必要がある。
- ・文化祭は、今年度から形式の変更と「物品バザー」の企画ができるようになった。課題として、第二部の体育館と中庭での企画の同時進行の改善と、バザー・展示の教室使用の改善が挙げられる。また、外部の友人の招待や職員バザーなどの希望の声も挙げられた。
- ・部活動への所属生徒が少ないことも課題の一つである。

カ 教育相談関係（多賀 絢香）

- ・「ケース会議」を開き、支援を要する生徒の情報を共有、外部の先生から助言をいただいた。
- ・生徒相談室は、生徒よりも保護者の利用が多かった。生徒相談室を生徒がより気軽に使えるような工夫を行うことが今後の課題である。

キ 人権委員会（黒川 哲男）

- ・人権HRでは、1年生では「いじめ」、2年生では「外国人の人権」や「インターネットの付き合い方」、3年生では「違反質問への正しい答え方」や「デートDV」について学んだ。
- ・隔年開催の全校人権講演会は、これまでの2、3年生対象から全校生徒と保護者へと対象を拡大して行った。身近なインターネットについての講演だったので好評を得た。

*以上ア～キの報告は、担当教員が授業・行事等で不在の場合、教頭・首席等で対応した。

【協議委員より質疑及び意見】

協 各中学校からは学力の低い生徒が多く入ってくると思いますが、学力の底上げを頑張してほしい。「入れる学校」から「入りたい学校」を目指してください。

協 高校の教科書内容は、1年で全て学習することができているのか。

A 全てとは言い切れないが、特に必要なところを重点的に行っているのは実情です。

協 English Café に実際に参加してみて、雰囲気の良いに感心した。「間違えてもいいんだ」と思える、失敗が許される空間であることが良かったので、新たな取り組みで良さを伸ばしてほしい。さらに興味を持てるような工夫をして、参加者の増加を図って欲しい。

協 生活デザインでの、園児との交流が非常に良かった。生徒は園児だけではなく、保護者とも関わっていて、驚いた。担当の先生とも、次年度以降も続けていきたいという話をしている。キャリア教育にもつながると思うので、継続して行うと良いのではと思う。

協 人権福祉の視点から、福祉とタッグを組んでボランティア活動等を行うのも良いのではないか。

協 学校経営にはやはり組織的なマネジメントが必要である。マネジメントをしっかりと行っていくための具体的な施策を考えていくような校務分掌があってもよいのではないか。

*協：協議委員の方々からのご意見及びご質問 A：本校の回答

【会長によるまとめ】

- 部活動の人数を増やすために、週に一回程度の頻度の部活をつくってみてはどうか。バイト等が原因で毎日の参加が難しいのであれば、部活動とバイトを両立できるようなものを作れば良いのではないかと。楽しくできるような工夫が必要である。
- 今年度の総括をふまえて、次年度も更に学校をよりよくしていくための工夫をしていってもらいたい。